

防衛事業と地域共生特別委員会				記録簿
会 議 日 程	令和8年1月8日 9：30～10：25			
場 所	海上自衛隊奄美基地分遣隊			
出席委員	柳谷（委員長）	泰山（副委員長）	池田（委員）	元井（委員）
	永井（委員）	中村（委員）		
	栄（委員）			向野（議長）
欠 席 委 員	伊東（委員）	里山（委員）		
説明のため出席した者の職氏名	海上自衛隊奄美基地分遣隊 林隊長 海上自衛隊奄美基地分遣隊 中村総務科長			
付 議 事 件	・関係団体（海上自衛隊奄美分遣基地）への聞き取り			
出席職員	義永（局長）			
担 当 職 員 名	義永（局長）	委 員 長 署 名	柳谷 昌臣	
会 議 の 概 要				
林隊長	皆様が新聞報道などで把握している情報以上の情報を持ち合わせていないと思うが、概要など説明していきたい。 ○海上自衛隊奄美基地分遣隊の現状 奄美基地分遣隊は、佐世保地方隊、佐世保警備隊に属する。 業務としては、基地警備、艦艇・航空機に対する支援、海上危険物処理など。 S37.2開隊。64周年。 瀬戸内町長のコメントで【瀬戸内町は自衛隊に対する理解が深い。海上自衛隊奄美基地分遣隊が、これまで災害対応や行事協力など地域貢献を積極的に行っていたことから、陸自駐屯地誘致の際に反対がほとんどなかった。】 地域貢献としては、ドクターヘリ支援（年間10～20程度）。災害派遣、地元行事参加など。 ○新たな施設整備と新部隊（海上輸送群）の計画 ・須手地区の整備：令和7年度予算に設計費（約2億円）を計上し、岸壁、燃料タンク、隊舎、倉庫などの整備を計画している。 ・自衛隊海上輸送群：陸上自衛隊と海上自衛隊の共同部隊（大臣直轄）であり、瀬戸内町（古仁屋）には小型輸送艇（MSV）を運用する部隊（約20名規模）が配備される見通しである。 ・役割：九州と沖縄の中間に位置する奄美を後方支援の拠点とし、輸送・補給の中継点とする目的がある。			
泰山副委員長	自衛隊海上輸送群が直轄部隊であればどこにお話を伺った方が良いのか？			
林隊長	確認する。			
泰山副委員長	海上自衛隊との合同訓練などは？			
林隊長	新編されたばかりの部隊なので、海自と合同訓練していない。			
泰山副委員長	基地の規模感として十分か？			
林隊長	計画の埋め立てでは、何艇も入れる規模ではないが、奄美警備隊が与論島等まで動ける手段が現在はないので、基地整備により対応可能と思われる。			
池田委員	補給基地の役割について			
林隊長	新基地は南西地域における輸送・補給基盤であり補給基地ではない。他基地では民間タンカーなどで燃料などを運んでいる。輸送艦には補給能力は無い。			
中村委員	（輸送艇の）性能について			
林隊長	車両を運べると聞いている。フェリーかけろま程度（35m）の規模の船が配置されるだろう。			
中村委員	弾薬の輸送について			

林隊長	わかりませんという回答になる。陸自は、民間フェリーを利用したと記事で読んだことがある。輸送艇の性能、能力に対する情報が入ってきていない。
柳谷委員長	海自との訓練などを合同に行うか
林隊長	直接の業務及び組織が異なるので、支援を行う程度と思われる。
永井委員	災害などへの対応や新しい部隊の地域交流について
林隊長	奄美基地分遣隊と同規模になるので、訓練に支障が無い程度で地域行事にある程度は参加してくれると思う。